

「インターベンショナル痛み治療ガイドライン」 発刊にあたって

大瀬戸清茂

一般社団法人日本ペインクリニック学会 学術委員長，治療指針検討委員長

医療の様々な懸案が生じたことから，国民，ペインクリニック学会会員をはじめとする医学関連学会，保険医療関係者に対して有用なペインクリニックの指針になるように，日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会は，初代委員長の山室先生を中心にしたメンバーによって，大変な苦勞の末に『ペインクリニック治療指針第1版』を作成した．次に，大瀬戸を中心にした委員会が，手技編，疾患編の解説文と簡単なEBMを追加した第2版を作り，その後，奥田先生を中心に，充実した第3版，第4版を完成させた．しかし，EBMに関しては，国際的な基準への整合性に関して問題があった．今回，福井先生をチームリーダーとした『インターベンショナル治療ガイドライン』作成チームでは，国際的なEBM基準による膨大な文献検索をし，クリニカル・クエスチョンを設定し，さらに治療の妥当性も検討し，従来の治療指針EBM基準と合わせて記載している．

ペインクリニック治療指針の文献EBMを，本ガイドラインの文献EBMの国際基準に合わせ，いずれ統一したEBMを作成することが可能になった．今回のガイドラインは，ペインクリニック学会による他のガイドラインにも影響を与え得ると期待している．

学会の在り方としては，治療指針や幾つかのガイドラインについて，多面的に作ることで，学会員，他科医師，国民，政府，他の国々に知らせるのが務めだと考える．また，学会会員が，このガイドラインを利用して臨床研究を行う場合，学術委員会はそのサポートへの環境を整える必要性を考慮している．

平成26年2月吉日